

特 集

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた教育的取り組み

下間 正隆

特 集

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた教育的取り組み

下間 正隆¹

I. はじめに

2019年11月頃に中国で発生した新型コロナウイルス（以下、コロナ）は、2020年には世界的大流行を引きおこし、本学の教育にも大きな影響を及ぼした。

大学のコロナを中心とした感染対策が、実効性のあるものとなるためには、①学長の「教育の質を保証する」という強いリーダーシップ、②学生と教員、職員といった組織を構成する全員が、感染対策に関する知識や理解を共有すること、③個々の学生が、日々の暮らしのなかで、「感染予防行動を実践するという強い気持ち」を持ちつづけること、の三点が重要である。

本学において、この三点がどのように実現されたかについて述べたい。

II. 本学における新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた教育的取り組み

1. 学長の強いリーダーシップ

鎌倉学長は、国内でコロナが問題となりはじめた2020年2月に、本学ホームページに「新型コロナウイルス感染症への対応について」というコーナーを特設し、ホームページやメソフィア（教育機関用の総合情報共有システム）を通じて「大学が教育の質の確保に努力している」ことを、学生（院生を含む。以下、学生）や保護者に向けて、折々に各種のメッセージとして送った（図1）。

また鎌倉学長は、コロナ対策を推進するために、「新型コロナウイルス感染拡大を予防して学生・教職員及び地域の安全を守る」という基本方針のもと、大学の教職員を講義・演習班、実習班や生活活動班など

11の機能班にわけ、機能に応じて対応を任せた。そして頻回に開催された会議（15回、2020年9月末時点）で報告をうけ、協議を繰り返した。特に、大学だけではどうすることもできない「病院や介護施設などでの臨地実習の機会をいかにして確保するか」ということは大きな課題であった（表1）。

2. 感染対策に関する知識や理解の共有が大事

私たちが今まで経験したことのない病原体に対処するためには、学生、教職員の全員が、適切な感染対策の知識と理解を共有することが重要である（図2）。

2020年4月16日に、全国に緊急事態宣言が出されたこともあり、2020年度前期の授業は遠隔授業を主体にする事が決まった。

目まぐるしく変わる国内のコロナの感染状況の中、臨地実習でお世話になっている病院や施設からのスケジュールの変更や大学への要望などには、実習班が対応した。

前期は遠隔授業が中心というものの、いつでも演習や対面授業を行えるように、必要と考えられるコロナ対策を順番に実行した。

従来から、病院などでインフルエンザがアウトブレイクした際に「マスクを外して休憩する休憩室や食堂での飛沫感染や接触感染のリスクが高い」と言われている。

まず教職員総出で、生協食堂の食事エリアを体育館やヘルスプロモーションセンターまで拡大し、テーブルには飛沫感染予防のパーテーションを設置した（図3、4）。

また、一目瞭然で感染対策を理解できるように「必携 病院実習感染対策マニュアル」を作成した（図5、6）。学外での臨地実習の前に、学内で全学年に順番に、このマニュアルを基に座学と演習を行い、学生が臨床現場において適切に感染対策を行えるように教育


¹ 日本赤十字豊田看護大学
新型コロナウイルス感染予防対策本部

鎌倉学長から学生や保護者へのメッセージ

ホームページなどで、その折々に、各種のメッセージを送っている

2月 新型コロナに関する注意喚起
 3月 海外渡航などの注意喚起
 4月～ 教育活動に関する指針 (ver.1～ver.4)
 7月～ メッセージ

NEW!



学校法人 日本赤十字豊田看護大学
 Japanese Red Cross Toyota College of Nursing
 地球に寄り添う看護

新型コロナウイルス感染症に関する対応について
こちら

- ・【学部生と保護者の皆様へ】学長からのメッセージ 2020.8.31
- ・【学部生・大学院生・保護者の皆様へ】学長メッセージ 2020.8.6
- ・【学部生と保護者の皆様へ】学長からのメッセージ 2020.8.3
- ・【在学生の皆様へ】学長からのメッセージ 2020.7.22
- ・新型コロナウイルス感染予防に対応した教育活動に関する指針Ver.4 2020.7.20
- ・新型コロナウイルス感染予防に対応した教育活動に関する指針Ver.3 2020.5.18
- ・新型コロナウイルス感染予防に対応した教育活動に関する指針Ver.2 2020.4.17
- ・新型コロナウイルス感染予防に対応した教育活動に関する指針 2020.4.13
- ・新型コロナウイルス感染予防対策本部 組織図 2020.4.7
- ・新型コロナウイルス感染症に関する海外渡航等の注意喚起について 2020.3.13
- ・新型コロナウイルス感染症に関する注意喚起について 2020.2.21

図1 鎌倉学長からの学生や保護者へのメッセージ

表1 本学における新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた教育的取り組み

| | |
|-----|---|
| 3月 | 新型コロナウイルス感染予防対策本部（本部長：鎌倉学長）を設置。体制を整備、全ての学生に手指消毒剤（テノケア）を配布。「学生連絡票」で学生・教職員の健康を一元管理、など |
| 4月 | 全ての学生に、「新型コロナ対策」について対面で講義（4月1日：一年生、4月8日：二～四年生）。主として、オンライン授業で前期授業を開始。 |
| 5月 | 『必携 病院実習感染対策マニュアル』を作成して、学生に配布。教員・職員に感染対策について講義&実習（3回） |
| 6月 | 四年生：学内での演習開始。感染対策について講義&実習（8回） |
| 7月 | 四年生：病院での臨地実習開始。病院に持参するサージカルマスクと手指消毒剤（サニサーラ）を配布 |
| 8月 | |
| 9月 | 全学年にコロナ対策について再度講義（一～三年生：対面。四年生：オンデマンド）。対面授業とオンライン授業を組みあわせて、後期授業を開始。 三年生：病院での臨地実習開始。病院に持参するサージカルマスクと手指消毒剤（サニサーラ）を配布 |
| 10月 | |

学生が、感染対策を「視覚的に」理解できるように

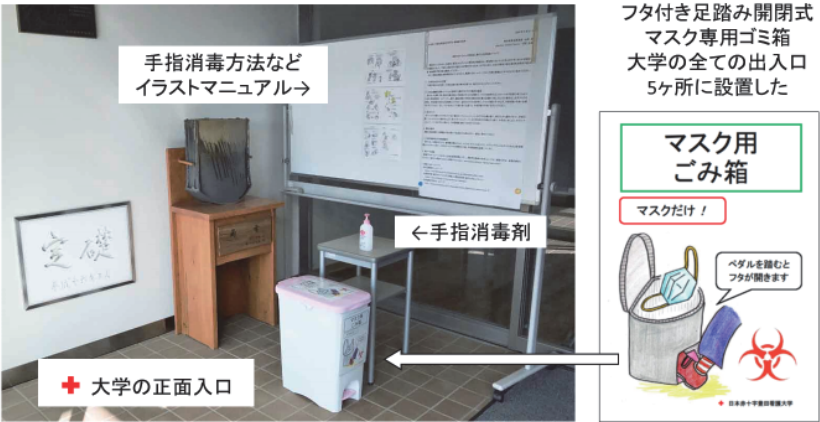


図2 大学の正面入口での感染対策



図3 教職員によるパーティションの作成



図4 パーティションの設置



図5 必携 病院実習感染対策マニュアル (表紙)



図6 必携 病院実習感染対策マニュアル (部分)

を繰り返した (図 7)。

体温が 37℃ 以上であったり、体調に変化のある学生からの連絡など、学生の健康管理は「学生連絡票」で一元管理した (図 8)。2020 年 9 月末の時点で、42 人 (全学生の 7% 程度) からの連絡が集計されており、何らかの理由で PCR 検査をうけた学生は 2 人いたが、結果は陰性であった。



図 7 四年生の学内演習の一場面 (エプロンを適切に脱ぐ練習)

3. 学生が「感染予防行動を実践するという強い気持ち」を持ちつづけること

大学における主役は、学生である。本学の学生は、将来、医療の現場で活躍するという心構えを持っている。学生と会話する中で、新型コロナウイルスに対する感染対策を十分に理解し、適切に予防行動を実践しようという強い気持ちを持ちつづけていることが感じられる。

Ⅲ. 今後の課題

最後に、新型コロナウイルスによって引き起こされた今回の騒動は、数年程度の一過性のものである。免疫力が低下した患者が入院している病院における感染対策で重要な病原体は、なかなか症状が出ないために、静かに広がっていく薬剤耐性菌である。薬剤耐性菌による感染症は、治療として使える抗菌薬が限られるため、院内感染のレベルを超えて、いまや人類全体の深刻な問題となっている。

今回のコロナ対策を契機に、看護大学における感染対策教育の内容をより充実させることが重要であると考えられる。

| 学生連絡票 | | 本票の通し番号 <No. 33 > | |
|------------------------------------|-------------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 電話連絡日(2020年) | 7月31日(金曜日) | 記者者の名前 | 学務課: 〇〇〇〇 |
| 学年 | 3年 | 学籍番号 | 〇〇〇〇〇 |
| 学生の名前 | 〇〇〇〇 | 電話番号 | 〇〇〇〇〇〇〇〇 |
| 質問1 | 風邪症状(咳、鼻水、喉の痛みなど)←〇をする | ある・ない | 7月30日(木曜日)から |
| | 本日の体温(37.2~3度) 平熱(36.1~2 度) | 発熱ある ない | 7月31日(金曜日)から |
| | 強いだるさ(倦怠感) | 少しある ない | 月 日(曜日)から |
| | 息苦しさ(呼吸困難) | ある ない | 月 日(曜日)から |
| | 嗅覚や味覚の障害 | ある ない | 月 日(曜日)から |
| 質問2 | 胃腸症状(吐気、嘔吐、腹痛、下痢など)←〇をする | ある ない | 月 日(曜日)から |
| 質問3 | 同居者や友達に、同様の症状の人はいるか? | いる いない | 誰か、年齢、症状等: |
| 質問4 | 最近、旅行をしたか? | した していない | 期間、地域: |
| 質問5 | 最近、カラオケなど感染リスクの高いところに行ったか? | 行った 行っていない | 7月22日(水)夜2時間程度 友人と飲食店で会食 |
| 質問5 | 診療所などを受診したか? | した していない | 下欄(OD)コメント欄 |
| 診療所等の名前 | | ※ メール、電話などによるコメントを学務課で記載する | |
| 診断名 | | | |
| 「新型コロナ感染の可能性」が有るとか、無いとか、言われたか | | | |
| インフルエンザ検査はしたか?していないか?その結果は? | | | |
| 処方薬は何か? | | | |
| 自由記載欄(その後の経過など): | | | |
| 7/25~26 辺りから、喉の痛みあり。 | | | |
| 7/30 から咳と鼻水症状あり(喉の痛みは消失)。 | | | |
| 7/31 朝 37.2~3℃、11:30 頃 37.5℃ 発熱あり。 | | | |
| ※記載内容が多い場合は、裏面にも記載すること | | | |
| 作成:下欄 第4版 2020-6-25 | | | |

図 8 学生連絡票